

1年を通して定期的に活動しています。

今後も継続して活動していきますので引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

朗読ボランティア・読み聞かせ



アナウンサーの経験を活かして、夫と二人で取り組んでいる「めもと朗読」も6年目。地元の小学校等で読み聞かせをしています。

防災訓練・消防団活動



区議としてまた、消防団員として地域の皆さんの安全・安心を守ります！

清掃活動



毎月第一日曜には烏山駅前通り商店街。第三日曜には八幡山での清掃活動に取り組んでいます。

若者支援



議員になる前から力を入れて取り組んでいる若者支援。就職活動に重要なビジネスマナーの指導や相談も承っています。

編集後記

都立松沢病院脇の歩道(世田谷区上北沢)には、四季折々の花々が植えられています。手入れをしている地域の重鎮の御方、長島清一さんは、なんと現在94才。実は、私の後援会の会長も担ってくれています。地域の皆さんに花を通して、心を癒やして欲しいとどんなに暑い日でも



休まず毎日手入れをしてくれています。深く温かい懐、豊かな生き様に大切な心も学ばせていただいている日々です。



プロフィール

アナウンサー・NHKキャスターを経てフリーアナウンサーに。官公庁・民間企業・大学等で講師として多数登壇。キャリアカウンセラーとしても活動。2008年株式会社コミュニ(人材育成会社)を設立、代表取締役就任。2015年「女性の目線から、もっと住みやすい街にしたい」と一念発起し世田谷区議会議員選挙において、公募での自民党公認をいただき出馬。地盤を引き継ぎ、まさにゼロからのスタート。

常に笑顔を忘れず地道に謙虚に取り組むことをモットーに現在2期目。自民党区議団では唯一の女性議員として、今日も果敢に取り組んでいる。

- 国家資格キャリアコンサルタント ●NLPワークショップトレーナー
- CDA (キャリアディベロップメント・アドバイザー)
- TAトレーナー ●教員免許 (中学・高校国語、高校書道) 等



皆さまの声を
お聞かせください

石川ナオミ事務所

〒156-0056 東京都世田谷区八幡山 3-23-26

TEL & FAX : 03-5942-1285

Eメール : info@naomi-ishikawa.com

<https://www.facebook.com/naoishikawa>

石川ナオミ

検索

ホームページ : www.naomi-ishikawa.com



公式ホームページ

世田谷区民のアナウンサー！



石川ナオミ

“ナオミチャンネル”

世田谷区議会議員

討議資料

みんなでコロナを乗り越えよう！！

新型コロナウイルスの

感染拡大によって、

例年とは違う大変な夏を

お過ごしのことと存じます。

皆さま、お変わりございませんか。

都内でも感染者が増減している状況で、罹患された方々には

謹んでお見舞い申し上げますとともに、

一日も早いご快復を心よりお祈り申し上げます。

また、日夜、最前線で国民の健康福祉に貢献してくださっている

医療従事者や介護従事者など多くのエッセンシャルワーカー

(私達が日常生活を維持する上で無くてはならない

職業に就いている方)の皆様に心より敬意を表しております。

一日も早い事態の収束を願ってやみません。

残念ながら、夏以降の地域行事開催中止もご連絡が次々に

届いて寂しく感じております。

しかし、どんなに社会が変わろうとも地域のふれあいや心の交流は

不変的なもの、変わってはいけない大切なものです。

皆さまお一人おひとりのことをより一層想いながら、

今号の「ナオミチャンネル」心を込めてお届けいたします。

まだまだ暑さが続きますので、くれぐれもご自愛下さいませ。

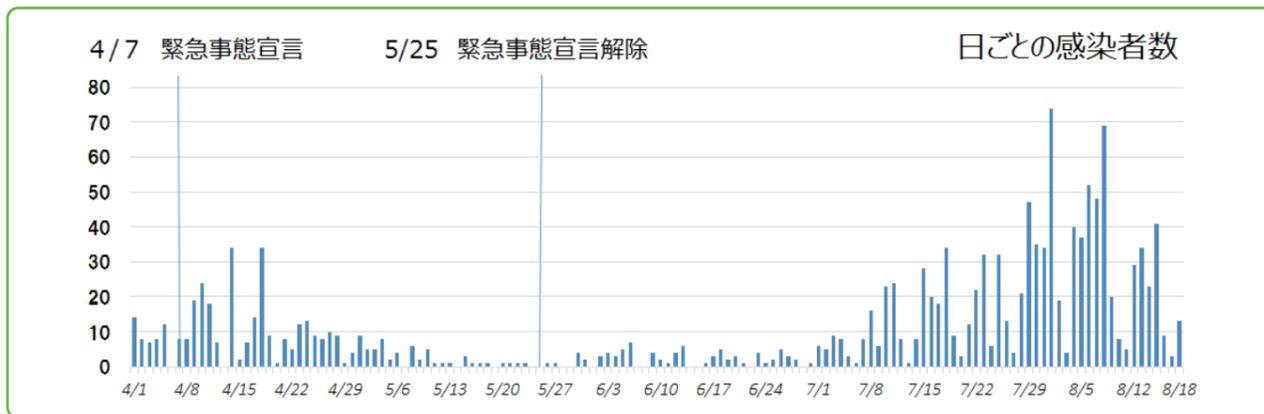


石川ナオミ
区政報告
2020年夏号
第009号

感染予防を!!

世田谷区内のコロナ感染者数。

7月以降再び増加しており、未だ収束の道筋が見えていないのが現状です。



感染拡大防止と経済活動の両立を図っていくために「感染しない!させない!」の新しい日常で、引き続き感染予防をしていきましょう。

◆発熱やせきなど4日以上続く場合など心配な時は

世田谷帰国者・接触者相談センター (8:30~17:15)

☎ 03-5432-2910

東京都新型コロナ患者相談センター (24時間対応)

☎ 03-5320-4592

◆一般的な新型コロナウイルスに関するご相談は

厚生労働省 ☎ 0120-565653 (フリーダイヤル 9:00~21:00)



コロナ禍によって大きく変わる公教育

コロナ禍におきましては新しい生活様式に順応していかなければなりません。

ご存知のようにオンライン教育による学び方やテレワーク、在宅勤務など今までとは違う発想の展開が急激に推し進められています。

私は今、文教常任委員会の副委員長を拝命しておりますが、このオンライン教育の推進については委員会でも教育委員会からも多く説明をいただきます。

そこで、今回は、劇的に変化する公教育についてご紹介いたします。

国では GIGA スクール構想として (GIGA = Global and Innovation Gateway for All) 令和の学びのスタンダードは、「児童生徒1人1台の端末を」という ICT (情報通信技術) の教育に力を入れて取り組んでいます。

今般、オンライン活用が一般的になり働き方も大きく変わってきました。

社会のあらゆる場所で ICT 活用が日常のものとなっています。

当然、社会を生き抜く力を育み、子供たちの可能性を広げる場所である学校が、時代に取り残されているようではいけません。

このコロナ禍でより一層 ICT 教育の必要性が問われてきました。

今、世田谷区も今年度内には全ての児童生徒に端末1人1台が揃えられるよう急ピッチで進めているところです。(区立小中学校4万3000台)



新たな教育の技術革新は、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない「個別最適化」された学びや創造性を育む学びにも寄与するものです。特別な支援が必要な子供たちの可能性も大きく広げるものでなくてはなりません。

私は議員になった当初から「医療的ケアが必要なお子さんへの支援」ということに力を入れて取り組んできました。

世田谷区では、区立の学校に医療的ケアが必要なお子さんが通常学級に通える支援体制を整えて、学びの選択を広げています。

(「学校看護師制度」2018年より試行、2020年より本格実施)

しかし、今般のコロナ禍では特別な支援が必要なお子さん、特に人工呼吸器を使うような重度の医療的ケアが必要なお子さんにとっては感染のリスクが高く学校に通いたくても通えない状況にあります。

そこで、私は、そのようなお子さんの学びも止めることなく環境整備を早急に進めていけるよう、教育委員会に働きかけてきました。



※教室にパソコンを設置してご家庭とつなぎ、リアルな授業が受けられるようにしています。(世田谷区の区立小学校にて)

夏休み前の2週間、オンライン授業を区内でも先行的に実施していただき、実際に授業風景等も見学いたしました。

一方、教室とオンラインで繋がっているお宅にも伺いました。

これまでも何度か伺っていたお宅のお子さん(現在小学5年生)ちょっぴりお姉さんの表情に、その成長した姿にお会いできて嬉しかったです。



2015年撮影

ご家庭では、お母さんの献身的なサポートが必要な状況です。

(お母さんからは)「娘に体力的な面で余裕ができ、免疫力も維持できコロナ罹患予防につながっている」などオンライン授業でのメリットと、今後に向けての課題点などを伺いました。

「感染者数が急増した時に学びの選択肢があることは本当に有り難い」とのことでした。2学期からもより良い授業が受けられるよう改善していかなければいけません。



私は、来月(9月15日)に開催される第三回定例会で代表質問を担当することになっていきますので、こうした課題も取り上げ、教育委員会にしっかりと要望して参ります。

コロナ禍を通してオンライン授業の進化は、不登校のお子さんや様々な状況下にある子ども達の学習支援、個別対応の教育に繋がっていくことが期待されます。そしてオンラインだけでは伝わらない、人との触れあいなどから学んでいく自他を尊重する心や、思いやりの心を育てていくこともさらに充実したものになるよう提言していきます。

